

米沢興讓館高校SSH通信

2学年探究科 台湾探究研修・2学年普通科 関西キャリア研修

令和5年12月3日（日）～7日（木）4泊5日の日程で、2学年探究科生徒対象に海外探究研修を行い、台湾を訪れました。国立台湾師範附属高級中学で、外国語による発表交流を行い、他国の高校生の研究を学び、視野を広げるとともに、系統別研修において他国の科学技術及び文化等の主体的体験学習を行うことにより、学力向上及びキャリア形成等を図りました。

また、同時期の12月3日（日）～6日（水）に、2学年普通科も進路学習の一環として大学及び施設等を見学することで進路意識を高め、進路目標確立の一助とすることを目的に、関西方面へのキャリア研修を行いました。主体的な活動を通して、交渉力や自文化理解を深めるとともに、違った価値観に触れ、俯瞰力を身に付けました。また、日常触れる機会のない方の講話や施設の見学を通して、自らの将来や生き方について考える機会となりました。

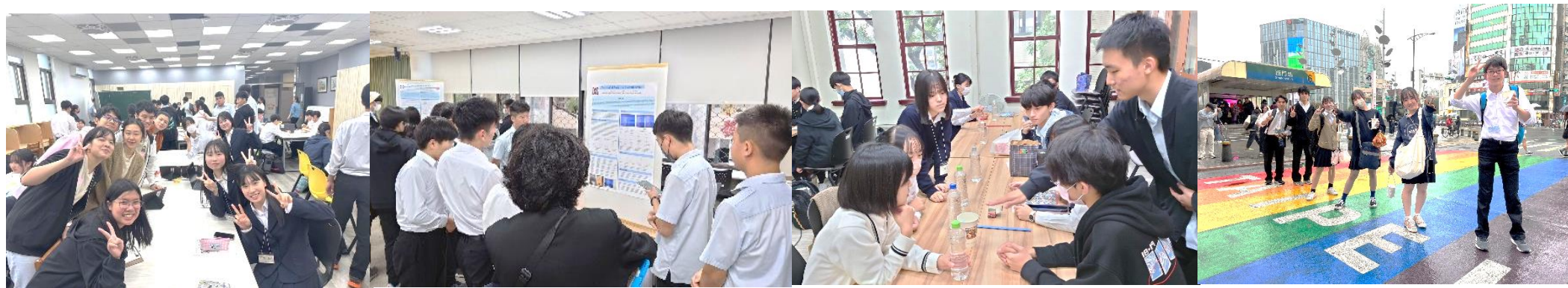
関西キャリア研修で学んだこと

2年普通科 女子

私たちは12月3日から6日までの4日間、関西キャリア研修に行ってきました。SSHの研究テーマごとに企業や大学に赴き、研究の参考となるお話をお聞きしました。訪問先を探すことからアポ取りまで全て自分たちで行ったことで、社会性を養う面においても大きな成長となりました。

私たちは「やさしい日本語」についての研究を行っているのですが、大阪や京都の街を歩いているなかではとさせられたことがあります。それは聞こえてくる言葉が日本語以外の言語の方が多く感じられたことです。普段の生活ではなかなか気づけないことでしたが、古き良き日本の文化と急速的なグローバル化の波が共存している状況を実感することができ、自分たちが解決しようとしている問題がより身近に感じられました。

4日間での研修で得た成果をこれからの活動に十分に活かし、2月の校内成果発表会に向けてより良い研究にできるようにしたいです。



台湾研修を振り返って

2年探究科 男子

今回の台湾研修旅行で最も印象に残ったことは、3日目に行われた現地高校生との交流だ。そこでは、英語による体験授業や研究発表等が行われた。特に研究発表では、相手にしっかり伝わるか、相手の発言を正確に聴き取れるかについてかなり不安があったが、何とか乗り切ることができた。

しかし、体験授業から昼食休憩まで行動を共にしたバディと思うように会話できなかった事は心残りになっている。自分から行動しなければ後悔してしまうという事をひどく痛感した。

ただ全体的に見れば、今回の研修は、日本を発つ時に抱えていた不安が、日本に着いた時には全て満足感に変わるぐらい本当に良いものだった。ここでの経験は一生の思い出となるだろう。

台湾研修での成果

2年探究科 女子

私たちは12月初旬に4泊5日の研修旅行で台湾を訪れた。国際探究科にとっては今年が初の海外研修であり、これまでより多くの学びを現地での国際交流を通して得ることができたように感じる。

台湾では、ホームステイや自主研修などの現地の人々と英語でコミュニケーションをする機会において、困難やもどかしさを経験した。また、訪れた様々な場所で、日本との習慣や文化の違いを知り戸惑いや解せない思いをすることもあった。しかし、そこで出会う現地の人々の優しさや温かさに触れ、次第に言語や文化の壁を超えて他国の人とも深く知り合えるようになりたいと感じた。

私はこの研修を通し、外国語や他文化を学ぶことは自分の世界を広げるための手段となるという重要性を改めて実感し、国外のような未知の世界へ踏み出す自分の可能性に希望を感じることができた。今後は今回の経験から得られた学びや思いを忘れず、日々の生活や学習に生かしていきたい。

